



平成 26 年度
国際交流報告書

平成26年度 年間行事

全キャンパス



月	日付	国	内容	ページ
5	5/10~17		韓国・大邱韓医大校韓国文化研修	1
6	6/30~7/11		夏期日本語・日本文化研修	2,3
8	8/4~22		韓国・培材大校サマースクールに参加	4
	8/28		内閣府国際交流事業	5
9	9/7~13 2/22~28	 	海外企業研修（インド） 海外企業研修（タイ）	6
10	10/10		蔚山大校交流協定締結20周年事業シンポジウム	7
1	1/27~2/14		冬期日本語・日本文化研修	8,9
3	3/6		台中科技大学 学長訪問	10

浜田キャンパス




月	日付	国	内容	ページ
4	4/11		ロシア海洋国立大学訪問	10
5	5/23		ワールド地連カフェ開催	11
6	6/16		ハワイ大学 来学	11
	6/27		カザン連邦大学 来学	12
8	8/1~30		異文化理解研修（ロシア・ウラジオストク）	12
	8/2~30		異文化理解研修（中国・北京）	13

8	8/2~9/1		異文化理解研修（アメリカ・モンレー）	13
	8/3~27		異文化理解研修（韓国・蔚山）	14
	8/26~28		中国・寧夏大学訪問団 来学	14
9	9/11		安徽財経大学 訪問	15
11	11/1		東北師範大学シンポジウム	15
	11/27		インド・AIMS 訪問団 来学	16
12	12/11		オーストラリア・グリフィス大学訪問団 来学	17
	12/17		第 14 回 国際文化交流のタベ	18,19
	12/20		韓国文化祭 in はまだ	19
1	1/14		海外体験報告会	20
2	2/22~3/22		異文化理解研修（アメリカ・ハワイ）	20

出雲キャンパス

月	日付	国	内容	ページ
8	8/19~31		異文化理解研修（アメリカ）	21
	8/19~24		異文化理解研修（韓国）	22

松江キャンパス

月	日付	国	内容	ページ
5	5/14		アメリカ・南ユタ大学の学生と交流	23
8	8/6~8/25		海外語学研修（アメリカ）	24
8	8/22~8/29		アジア文化演習 A（韓国、中国）	25

本学では、短期海外留学や長期留学、海外からの留学生の受け入れ、その留学生と本学学生との日常的な交流など、国際人としての素養を身につける幅広い取り組みを行っています。

短期研修

全キャンパス

韓国・大邱韓医大学校韓国文化研修

平成26年5月10日～17日の約1週間、世界各国から集まった学生と一緒に韓国語や韓国文化について学ぶ韓国・大邱韓医大学校韓国文化研修が開催されました。本学からは松江キャンパス1名、浜田キャンパス1名の計2名が参加しました。

- 【一日目】キャンパスツアー（サポーターとの出会い）／韓国語講座
- 【二日目】茶道体験／蓮（ハス）作り／瞑想
- 【三日目】伝統扇作り／サムルノリ／日本語学科の学生との交流
- 【四日目】世界仮面博物館／ハフェ町観光
- 【五日目】薬令土博物館



▲ドンファ寺



▲伝統楽器 サムルノリ演奏

【学生からの声】

- ・今回のプログラムに参加して本当に良かったと思います。韓国語だけでなく英語の必要性を感じるが多かったです。
- ・今回のプログラムは7カ国の国の学生が参加していたので、生まれて初めて会う国の学生などと会えて交流できて良かったです。そして自分のがんばらなくてはいけない部分や自分の韓国語の能力も試せたのでとても良かったです。本当にこのプロジェクトに参加できて、勉強になり楽しかったです。



夏期日本語・日本文化研修 2014

平成 26 年 6 月 30 日～7 月 11 日の約 2 週間、ロシア国立研究大学高等経済学院、柳韓大学校、蔚山大学校、安徽財經大学、台中科技大学の 5 大学から 11 名の学生を受け入れ、「島根県立大学 夏期日本語・日本文化研修」を実施しました。

			
▲開講式	▲昼食交流会	▲歓迎会	▲石見神楽授業
			
▲日本語授業	▲茶道体験	▲三二運動会	
			
▲広島視察	▲出雲視察	▲出雲キャンパス交流	
			
▲松江視察	▲松江キャンパス交流	▲高校訪問	
			
▲公民館訪問	▲閉講式	▲送別会	

【日程】

6/27～29	入寮
6/30	開講式、学長表敬、日本語授業、学生交流、歓迎会
7/1	日本語授業、日本文化体験授業（石見神楽）
7/2	日本語授業、学生交流（茶道）
7/3	広島視察
7/4	日本語授業
7/5	出雲視察、出雲キャンパス交流、ゴーストツアー
7/6	松江視察、料理交流会
7/7	書道体験、松江キャンパス交流
7/8	松江視察
7/9	高校訪問（津和野高校）
7/10	講義体験、日本語授業、学生交流
7/11	江津視察（風の国）、市民交流（美川公民館）、送別会

【研修生からの感想】 ※研修生の言葉を原文に近い形で掲載しております。

- ◆この研修プログラムに参加できて、すごく嬉しかったです。2週間はあまり長くない時間です。けれども、この間はすごく楽しかったです。そして、先生方と学生の皆のおかげで、日本語がもっと上手になったと思いますし、日本がもっともっと大好きになりました。
- ◆本当に楽しかったです。日本語も勉強したし、他の国の友達もできたし、すごくうれしかったです。日本は初めてだったので、来る前にいろいろ不安がありましたが、先生も学生もみんなやさしい人だったので、安心しました。よかったですと思います。時間がもっと長ければ良かったと思います。
- ◆忘れられない思い出がいっぱい作れて、新しい友達との出会い、そして、一期一会という言葉の意味がもっと深く感じました。これからは人と人との出会いを大切にしたいと思います。
- ◆韓国と日本を繋ぐ架け橋として頑張っていきます。

韓国・培材大学校サマースクール

平成 26 年 8 月 4 日～22 日の約 20 日間、世界各国の大学から約 200 名の学生が参加する大規模なサマースクールが開催されました。本学からは松江キャンパス 1 名、浜田キャンパス 2 名の計 3 名が参加しました。

【プログラム内容】キャンパスツアー／韓国語授業／体育会／フィールドトリップ／文化体験／フェアウェルパーティー



▲韓国学



▲テコンドー



▲体育会



▲ウォーターパーク



▲チマチョゴリ



▲フェアウェルパーティー

【学生からの声】

- ・私は生涯を通していろんな国に行き、いろんなもの見ていきたいという理由で参加しました。この研修では韓国についてや、それ以外でもいろいろなことを知り、得るものがたくさんありました。
- ・研修の締めくくりであるディナーパーティーでは、みんなと別れるのが辛く、大泣きしながら撮った写真もたくさんありますが、それほど、この 3 週間の研修は濃いものであったということです。来年は私たちのレポートを見て研修に参加してくれる人が増えたら嬉しいです。

内閣府青年国際交流事業

日本と世界各国の青年との交流を通じて、広い国際視野と国際協調の精神を養い、国際化の進む社会で活躍できる青年の育成を目的に内閣府が行う事業です。事業内容には、国際青年育成交流、日本・韓国青年親善交流、東南アジア青年の船などがあり、本学の学生が毎年積極的に参加しています。

平成 26 年度は、本学の学生 2 名が、日本代表青年として派遣されました。

【壮行式の様子】 8 月 28 日



【現地での様子】

国際青年育成交流（ドミニカ共和国）〈9月6日～9月23日〉



日本・韓国青年親善交流事業〈9月11日～9月25日〉



【報告会・説明会の様子】 報告会：1月14日、説明会：2月10日



海外企業研修

インド・タイの企業や大学を訪問し、それぞれの国の経済状況を肌で感じ、現地の大学生との交流を通じて、国際的視野の獲得と国際協調の精神を養いながら、自分の将来を考えるきっかけとなりました。

【インドコース】

期 間 平成26年9月7日～9月13日

参 加 学生10名、引率者5名

訪問先 6企業、3大学



【タイコース】

期 間 平成27年2月22日～2月28日

参 加 学生7名、引率者5名

訪問先 6企業、2大学・学校



蔚山大学校交流協定締結 20 周年事業シンポジウム

平成 26 年 10 月 10 日浜田キャンパスにおいて、本学と蔚山大学校との交流協定締結 20 周年を記念して合同国際シンポジウムを開催致しました。李哲蔚山大学校総長の基調講演をはじめ、蔚山大学校を紹介するビデオ上映、両大学 2 名ずつの研究者による報告が行われました。

シンポジウムには、地域の皆様をはじめ本学の在学生・教職員など 200 名以上の来場がありました。

【出雲キャンパス訪問】



▲出雲キャンパス訪問



▲出雲キャンパス協議



▲出雲視察

【交流協定 20 周年記念式典】



▲記念式典



▲学術交流協定締結



▲集合写真

【合同国際シンポジウム】



▲本田学長あいさつ



▲李哲総長記念講演



▲魯成煥教授



▲井上厚史教授



▲許英蘭副教授



▲福原裕二准教授



▲質疑応答



▲会場の様子

冬期日本語・日本文化研修 2015

平成 27 年 1 月 27 日～2 月 14 日の約 3 週間、安徽財經大学、華僑大学、培材大
 学校、蔚山大学校、台中科技大学の 5 大学から 11 名の学生を受け入れ、「島根県立大
 学 冬期日本語・日本文化研修」を実施しました。

			
▲開講式	▲昼食交流会	▲歓迎会	▲石見神楽授業
			
▲日本語授業	▲夜神楽鑑賞	▲スケート	▲広島視察
			
▲学生交流	▲紙漉き体験	▲中学校訪問	
			
▲箸作り	▲交流会	▲出雲キャンパス交流	▲出雲視察
			
▲松江キャンパス交流	▲松江視察	▲食文化交流会	▲閉講式

【日程】

1/25~26	入寮
1/27	開講式、学長表敬、日本語授業、学生交流、歓迎会
1/28	日本語授業、日本文化体験（紙漉ぎ）
1/29	講義体験、日本語授業
1/30	日本語授業
1/31	学生交流、夜神楽鑑賞
2/1	自由
2/2	日本語授業、学生交流（銭太鼓）
2/3	講義体験、日本語授業、学生交流（節分）
2/4	日本文化授業（石見神楽）、日本語授業、学生交流（茶道）
2/5	日本語授業、アクティビティ（スケート）
2/6	日本語授業、学生交流（ミニチュアパフェ作り）
2/7	広島視察
2/8	自由
2/9	日本語授業、中学校訪問（鎌手中学校）
2/10	江津視察（風の国）、交流会
2/11	出雲視察、出雲キャンパス交流
2/12	着付け体験、松江視察
2/13	交流懇談会、松江キャンパス交流、松江視察
2/14	食文化交流会、閉講式

【研修生からの感想】 ※研修生の言葉を原文に近い形で掲載しております。

- ◆本当にいろいろありがとうございました。すごく楽しかったです。この3週間に体験したことは自分の一生の宝物です。日本語だけではなく、他の国の言葉もたくさん覚えて本当によかったと思います。友達もたくさんできました。今回の研修のお陰です。
- ◆今回の研修は、とても有意義だったと思います。いろいろ勉強になりました。帰国した後、もっと勉強して、今回の研修で得たものを今後の生活、仕事に生かしたいと思っています。
- ◆今回の研修では、たくさんの人の前で自信を持つようになりました。本当に良かったです。またこのような機会がありましたら参加したいです。ありがとうございます。

台湾・台中科技大学訪問

平成 27 年 3 月 6 日に、本田学長、小林明子国際交流センター長、事務局職員が台湾・台中科技大学を訪問しました。双方の大学の学生交流の発展をテーマに会談し、今後の学生交流プログラムについて、有意義な協議をすることができました。



ロシア海洋国立大学を訪問

平成 26 年 4 月 11 日に、小林明子国際交流センター長と事務局職員がロシア海洋国立大学を訪問しました。双方の大学の学生交流の発展をテーマに会談し、今後の学生交流プログラムについて、有意義な協議をすることができました。



ワールド地連カフェ開催

平成 26 年 5 月 23 日に、JICA（独立行政法人国際協力機構）・しまね国際センター・本学事務局地域連携課・国際交流課が合同でイベントを開催しました。各機関の事業説明のあと、留学生と日本人学生の交流の場となりました。

【事業説明の様子】



【交流の様子】



ハワイ大学 学長表敬

平成 26 年 6 月 16 日に、ハワイ大学から Janice Uchida 先生が浜田キャンパスに来学されました。双方の学生交流の発展をテーマに会談しました。



ロシア・カザン連邦大学 学長表敬

平成 26 年 6 月 27 日に、カザン連邦大学から先生が浜田キャンパスに来学されました。



異文化理解研修（ロシア・ウラジオストク）

【研 修 先】ロシア海洋国立大学

【研 修 期 間】平成 26 年 8 月 1 日（出発日）～8 月 30 日（帰国日）

【プログラム内容】ロシア語授業／文化体験／映画・演劇鑑賞／現地見学（ルスキー島、博物館見学など）



異文化理解研修（中国・北京）

【研 修 先】北京外国語大学

【研 修 期 間】平成 26 年 8 月 2 日（出発日）～8 月 30 日（帰国日）

【プログラム内容】中国語授業／地域文化学習／京劇鑑賞／現地見学（万里の長城・故宮・天壇公園、和園など）



異文化理解研修（アメリカ・モントレイ）

【研 修 先】モントレイ国際大学

【研 修 期 間】平成 26 年 8 月 2 日（出発日）～9 月 1 日（帰国日）

【プログラム内容】英語授業／コミュニティ体験／現地見学（サンフランシスコなど）・ビーチパーティー



異文化理解研修（韓国・蔚山）

【研 修 先】蔚山大学校

【研 修 期 間】平成 26 年 8 月 3 日（出発日）～8 月 27 日（帰国日）

【プログラム内容】韓国語授業／文化体験（オンギ体験、韓国料理、テコンドーなど）
／現地見学（蔚山、慶州など）・ソウルツアー



中国・寧夏大学から学生が来学

平成 26 年 8 月 26 日～28 日の 3 日間、中国西北部に位置する寧夏回族自治区の寧夏大学外国語学院日本語学科から学生 14 名と先生が来学し、本学の学生と交流しました。



中国・安徽財經大学訪問

平成 26 年 9 月 11 日に、李曉東 NEAR センター長、小林明子国際交流センター長、事務局職員が中国・安徽財經大学を訪問しました。交流協定についてや、今後の学生交流や教員交流についても有意義な協議をすることができました。



東北師範大学東亜文明研究中心合同国際シンポジウム

平成 26 年 11 月 1 日浜田キャンパスにおいて、前年 9 月に学術交流協定を締結した東北師範大学東亜文明研究中心との合同国際シンポジウムを開催致しました。宇野重昭本学名誉教授の特別講演会のほか、東北師範大学と本学の研究者による報告が行われ、討論も活発に行われました。



インド・AIMS 来学

平成 26 年 11 月 27 日に、インド・AIMS から訪問団が来学しました。AIMS は、本学の海外企業研修（インド）の訪問先のひとつです。今回は日本の最先端企業と伝統的な産業の視察のために来日しました。島根では伝統産業の視察を行いました。



▲学長表敬



▲学生交流（ダンス）



▲学生交流（昼食）



▲体験授業



▲茶道体験



▲企業訪問（石州和紙会館）



▲企業訪問（亀谷窯業）



▲歓迎会

オーストラリア・グリフィス大学来学

平成 26 年 12 月 11 日に、オーストラリア・グリフィス大学で日本語を学ぶ 19 名の学生と引率者 2 名が来学し、学生交流が行われました。



▲到着



▲記念品授与



▲学長表敬



▲ランチ交流会



▲学生交流（銭太鼓）



▲浜田高等学校訪問



第14回 国際文化交流の夕べ

平成26年12月17日に、第14回国際文化交流の夕べを開催しました。

今年の第1部のメインゲストは、地域との繋がりを大切に、音楽を通して多くの方に「世界」に触れてもらいたいという思いから、県内在住の演奏家の方を「地域の音楽家」として二組お招きしました。

そのほかにも学生や留学生による歌・ダンス・ゲームなど、大学生と地域の皆さまとの交流を深めました。

第1部前半—学生団体によるパフォーマンス



▲吹奏楽部



▲韓国語サークルアンニョン



▲中国語サークル好好



▲アカペラサークルYellow Kite

第1部後半—地域の音楽家による演奏



▲「Duo・Affetti」の杉本さえみさん（フルート）と中山ゆき子さん（ヴァイオリン）

▲ピアノ伴奏 中村真弓さん



▲「江川太鼓」

第2部



▲職員によるハンドベル演奏



▲YOSAKOI「橙蘭」



▲ジェスチャーゲーム（交流の時間）



▲ダンス（交流の時間）



▲学生による歌



▲留学生のダンス

その他 浜田キャンパス

韓国文化祭 in はまだ

平成 26 年 12 月 20 日に、駐広島大韓民国総領事館主催の韓国文化祭 in はまだが開催しました。映画上映や韓国伝統芸能公演、来場者プレゼント抽選会などを行いました。



海外体験報告会

平成 27 年 1 月 14 日に、8 組 9 名の学生により海外体験が報告されました。昨年海外体験をした学生の発表を聞くため、本田学長をはじめ、学生、教職員が参加しました。

発表のあとは、報告者全員が参加して、パネルディスカッションが行われ、海外興味を持ったきっかけや海外体験を通じてどのような成長があったかなど、それぞれが意見を述べました。また、国内で参加できる国際交流情報なども共有されました。主な訪問先：ドイツ・フィリピン・アメリカ・東南アジア・インドなど。



▲報告会



▲パネルディスカッション



▲会場の様子

異文化理解研修（アメリカ・ハワイ）

【研 修 先】ハワイ大学

【研 修 期 間】平成 27 年 2 月 22 日（出発日）～3 月 22 日（帰国日）

【プログラム内容】英語授業／文化体験／現地見学（Polynesian Cultural Center, Iolani Palace, Hawaii Plantation Village, Japanese Cultural Center, Pearl Harbor など）



異文化理解研修（アメリカ）

出雲キャンパスでは平成8年からアメリカワシントン州にあるウェナチー・バレー大学とシアトル大学での研修を実施しています。今年度は2年次生12名が平成26年8月19日から8月31日まで研修に参加し、アメリカの看護や文化を体験しました。



【ESL（英会話）授業風景】

ESLではウェナチー・バレー大学専任教員による講義のほかに、ファーマーズマーケットでの英会話実践や、医療をテーマにした英語の寸劇を行い、語学力を身につけました。



【ウェナチー・バレー大学、シアトル大学 看護学部見学】

研修先のウェナチー・バレー大学とシアトル大学の看護学部を見学しました。実習室には幼児から高齢者までのシミュレーションモデルがあり、汗をかいたり表情が変わるなど、高性能なシミュレーションモデルに驚きました。



【医療機関、福祉施設見学】

総合病院や高齢者福祉施設、救急車運営会社など、様々な医療機関や福祉施設を見学しました。ウェナチー・バレー・メディカルセンターには通訳機能のついたベッドがあり、多民族国家アメリカを象徴していました。



【ホームステイ】

2泊3日でホームステイを行い、アメリカの人々の日常生活を体験しました。ホストファミリーと過ごした時間は学生にとって一生忘れられない思い出となり、帰国後もメール等で交流を続けています。

異文化理解研修（韓国）

出雲キャンパスでは平成 25 年度より韓国での異文化理解研修を実施しています。2回目となる今年度は、1 年次生 8 名が平成 26 年 8 月 19 日から 8 月 24 日まで、韓国大邱広域市にある啓明大学校と大邱韓医大学校での研修に参加しました。



【啓明大学校見学】

研修先の啓明大学校を見学しました。看護学部にはシミュレーション教育が実施出来る設備が整っており、看護教育の質の高さを感じられました。



【大邱韓医大学校附属病院見学】

鍼・灸を用いた治療の説明を受けた後、院内にある韓方薬の薬剤室や韓医体験センターを見学しました。韓医体験センターでは学生も鍼治療体験をさせていただきました。



【事前学習の発表】

啓明大学校と大邱韓医大学校の看護学生に、本学出雲キャンパスの紹介と日韓の看護教育制度の比較を発表しました。日本の看護教育制度についての質問をいくらか受け、日韓の制度の違いを改めて感じました。



【看護学生との交流】

啓明大学校と大邱韓医大学校の看護学生と交流し、互いの学生生活や文化について語り合いました。英語やジェスチャーでコミュニケーションをとれたことがうれしく、互いの言葉が分からなくても一緒に笑い合えました。



【伝統文化体験】

韓国の伝統衣装を着て、韓国の礼儀作法について3種類の礼を習い、その後、茶道体験をしました。日本ではなかなか着ることのない韓国の伝統衣装（チマチョゴリ）や、礼儀作法を体験でき貴重な時間になりました。

参加学生の感想

・韓国に着いて初めての食事はピビンバでしたが、そのときに感じたことは、「箸が重い」「想像をこえて辛い」ということです。韓国の箸は金属であるということは事前に調べて知っていました。しかし、いつも使い慣れている箸の重さとは全く異なるということは、韓国へ行ってみないと体験することはできません。韓国の食事は辛さも実際に食べてみないと分かりません。調べて知識を増やすことはもちろん必要ですが、その国の文化の中で体験し、実感することでよりいっそう、忘れられない知識となることが分かりました。

～異文化理解研修（韓国）報告書より抜粋～

アメリカ・南ユタ大学の学生との交流

5月14日に、南ユタ大学から学生・教員合わせて14名が松江キャンパスを訪問し、総合文化学科の「英会話A」履修生と交流しました。

松江キャンパスでは、日本の生活と家族、食生活などを学んでいる南ユタ大学の学生との交流を、平成22年から毎年行っています。



▲自己紹介&質問タイム



▲文化体験：けんだま



▲集合写真



▲文化体験：ダック・ダック・グース



▲スポーツ交流

海外語学研修（アメリカ）

松江キャンパスでは、ワシントン州立セントラル・ワシントン大学（CWU）と協力協定を 1990 年 6 月に締結し、交流を進めています。海外語学研修（サマープログラム）は、夏休みを利用して CWU に滞在し、語学研修や見学旅行を行います。

平成 26 年度は、8 月 6 日から 8 月 25 日の約 3 週間実施され、23 名の学生が参加しました。



▲CWU にて



▲授業風景



▲マリナーズ観戦



▲マウントレーニア登山



▲企業訪問



▲ファミリー訪問



▲ヤキマ川下り



▲お別れ夕食会



▲シアトル観光

【参加学生の感想】

- * 外国語を学ぶ上で何よりも大切なことは、伝えたいという気持ちだと分かった。
- * アメリカの良さを知ると同時に、日本の良さも再発見することができた。
- * 積極性が身につき、今後の勉強にも生かしたい。
- * たくさんの人との出会いがあり、この繋がりを大切にしていきたい。

～報告書からの抜粋～

アジア文化演習A（韓国、中国）

夏季休暇中に1週間、中国（5日間）と韓国（2日間）を訪問し、異文化演習をします。北京では、もちろん世界遺産の見学も行いますが、その他にも、市場や下町への訪問を通じて、あるいは民家での料理体験などを通じて、現地の人々とできるだけ交流を図ります。出発前に事前学習を数回実施し、帰国後は、異文化体験をテーマにレポートをまとめ、それに基づいた口頭発表をします。

平成26年度は、8月22日から8月29日に実施し、18名の学生が参加しました。



▲韓国・仁川の市場



▲故宮博物院の見学



▲八達嶺長城を歩く



▲中国の下町を散策



▲民家での料理体験交流



▲帰国後の成果発表

【参加学生の感想】

- *実際に海外に出てみることで、自分の国の文化と比較し、日本との同質性や異質性を感じることが出来た。違いを楽しむことこそ、海外へ行く意味であると考えた。今回の研修で、積極性を身に付けることが出来たように感じた。
- *今回の研修を通じて、自分たちの価値観を押し付け否定するのではなく、異文化として受け入れること、また自分で体験してみることに意味があると感じた。
- *現地の人とのコミュニケーションについて、初めはおどおどしていたが、韓国でも中国でもはっきりと話したり、質問や挨拶もできるようになった。他の受講者とも、最初は自分から壁を作っていたが、自分の意見を少しずつ言うこと出来るようになり、コミュニケーションの大切さを改めて実感した。

～帰国後提出のレポートからの抜粋～

島根県立大学・島根県立大学短期大学部
平成 26 年度 国際交流報告書

平成 27 年 3 月発行

編集・発行
島根県立大学 国際交流課

〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2
TEL:0855-25-9063 FAX:0855-24-2208
E-MAIL : kokusai@admin.u-shimane.ac.jp
